



<https://www.ikedachiicom.com/>

e-mail:mgtkp521@ybb.ne.jp

コミュニティ通信 IKEDA

2020年
春季号
3月発行

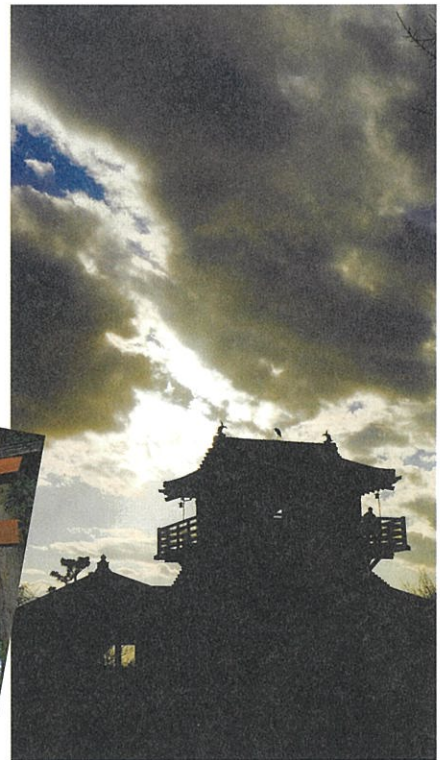
池田の歴史玉手箱



城跡公園



伊居太神社



池田城



綾羽地区



五月山から猪名川を臨む

池田小学校区地域コミュニティ推進協議会 会長 杉山 守



池田地域コミュニティ推進協議会は「自分たちのまちは自分たちでつくりたい」を合言葉に、自主的・自立的にまちづくりを行うことで、地域内の共通課題の解決を図り、市との協働でまちづくりを進めていこうとする分権型社会の最終目標を掲げた制度として平成19年に設立されました。

設立当初は0からのスタート
全くの白紙で、どのように活動するのか手探りの状態でしたが、歴代会長、役員、全会員が池田小学校校区（後表記は池田）を良くするため、真剣にこの活動に取り組んでおられたので、多くの困難を乗り越えながらではありませんが、池田地域コミュニティ推進協議会が構築されていくのには、そんなに時間を要さなかったように記憶しております。

幅広い世代の池田に暮らす人が池田のためにボランティアとして活動し、「防犯」「子育て」「にぎわい」の事を考えそんな純粋な気持ちで活動へ繋がり、目的を達成していく、これが現在の「池田地域コミュニティ推進協議会」構築された形です。

今後もこの形は引き継がれていくべきだと考えております。

設立以降「池田地域コミュニティ推進協議会」は様々な活動をして参りましたが、設立より10年以上が過ぎ、活動を続けていくうえで改革が必要な時なのかもしれません。

新市政も地域コミュニティ推進協議会の改革をお考えになられておられるようです。

「池田地域コミュニティ推進協議会」といたしましては、その改革に協働できることが、新たな1歩でありスタートであると考えます。

今後更なる「池田地域コミュニティ推進協議会」の飛躍を期待し、10年かけて構築されたものを根幹として、次のステージへと進んでまいりたいと考えております。

安全安心のまち部会 部会長 芹川 修

すこしやすいまち部会 部会長 小森 正

池田小学校区内の安心安全 を考えた事業を行いました



1. 地域14自主防災会・合同防災訓練の支援事業
2. 災害時用備蓄品補充事業
3. 道路安全対策強化事業
(池田中学校南交差点)
4. 防犯カメラ維持管理事業
5. 見学者通路安全増強対策事業

1. グリーンベルト舗装延長事業

池田ハローワーク前交差点～池田城址まで3期にわたりグリーンベルト舗装を行ってまいりました。多くの方が安全に通行して頂いております。



2. まちかどサロン開設事業

地域のコミュニティを目的として、まちかどサロン開設致しました。高齢者を中心に麻雀教室、カラオケサロンを展開しております。多くの方にご参加いただき目的を達成できています。

子育て・にぎわいのまち部会 部会長 しぶや かよこ

1. 市民レクリエーション大会事業

校区実行委員会が主となり、コミュニケーションの拡充とスポーツ意識の向上に伴う健康作りを目指して、毎年行なっている地域の運動会です。小さいお子さんから高齢者まで幅広い年齢層で多くの方々に参加されています。



2. ちいさな絵本館

絵本の読み聞かせを通して地域住民の世代間交流を推進しています。毎月のお話会のほか、季節ごとに工作なども取り入れた読み聞かせ会のイベントや、お母さんのための講座も喜ばれています。

3. いけだ学園畑プロジェクト

池田中学校の子どもたちが主体となって運営しているにふれあい農園を支援しています。今年のおさつまいもも見事な収穫でした。

4. キッズランド支援事業

池田小学校のキッズランドでは、子どもたちが使う教材や用具を購入し、充実した活動ができるように支援しています。

令和2年度事業提案

協議会提案額 9,452千円

にぎわいのあるまち 子育てのあるまち部会

2,096 千円

- 池田学園教育活動支援事業 170
- 「小さな絵本館」推進事業 1,305
- 市民レクリエーション大会事業 400
- キッズランド支援事業 131
- 自主上映会事業 90

安全・安心のまち部会

568 千円

- 14 自主防災会
合同防災訓練支援事業 200
- 見学通路安全補強対策 368

すこしやすいまち部会

3,273 千円

- グリーンベルト舗装延長事業 3,177
- まちかどサロン開設事業 96

事務局・総務・広報部会

3,515 千円

- 協議会事務所運営費 941
- 事務所事業費 100
- コミュニティ紙発行事業
(8,000部) 1回/年 116
- 「石の彫刻」環境改善事業
2期工事 2,358

地域コミュニティの今後の行方は如何に

富田市長に聴いてみました

地域コミュニティについて どのように思っておられますか

私は本当に素晴らしい組織だと思っています。

何が素晴らしいかという、いろいろな町を見てきましたが池田ほど市民の方々の公益活動のために参加、地域の力になりたいという思いが強い街は珍しいということです。

市民力が非常に高いと思っています。これは池田市の財産です。

池田の方々は当たり前だと思っているかも知れませんが他の町においては、こんなものではありません。

これは地域分権制度の功績でもありますし、大切に守らせてもらいながら進めさせて頂けたら良いなと思っています。

地域コミュニティ推進協議会は 今後も残す方向であると 考えてよろしいですか

今回の地域分権制度の改変に向けては潰すつもりはなく、むしろ今まで培ってきた地域コミュニティの推進力を更に伸ばしてゆきたい。

市民の参画や共助のしくみ、防犯の取り組みがもっと強力になるようなしくみを、もう一度新たに構築し直す事が出来れば良いなと思っています。



予算提案権について どのように考えておられますか

予算提案権があることによって地域のニーズがあがることや、地域の市政がそれを受けて進むことは非常に良いことだと思います。

しかし、それは予算があって生まれるものではなく、行政と地域住民がしっかりとタイアップして市民の要望を市が承っていくことが重要であり、予算枠ありきでニーズの汲み取りを進めると問題が生じるので改変が必要です。

現状として、行政の守備範囲が肥大化していることや、制度の決定事項に公平性が担保出来ていないことから、廃止せざるを得ないと思います。

とは言っても、地域が行っている事業の中で、地域分権制度から生まれた事業でかつ地域のために必要な事業は、今後提案権が廃止されたとしても地域の事業の中身を吟味しながら補助率100%をもとに各事業ごと審査を行い、助成額を決めていくという手法を取り入れたいと思っています。

残すものは残してゆく。中身ありきです。

地域コミュニティの組織構成員 改組も同時に行うのでしょうか

現状、地域コミュニティ推進協議会には様々な自治会や自主防災組織、学校PTA民生委員に入ってもらっていますが、さらに多様な方々に入ってもらよう、推進したいと思っています。

加えて、構成員の任免を全て行政が地域に任せていたこと、これが課題であり、今後は行政が入って行政が責任を持ちながら、地域コミュニティに入ってもらって下さる人々、企業を含めて声掛けをし続ける、そして地域のコミュニケーションのプラットフォームを作って、行政も皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っています。

池田地域コミュニティ推進協議会 が現在実施している施策が 将来見直しや制限が 加えられることがあるのでしょうか

そんなことはありません。

むしろ地域事業、地域の賑わい創出、助け合い、安心安全福利の向上、そういった活動に帰するものは、より手厚くさせて頂きたいと思っています。

ただしそれは、予算があって出来るということとは切り離して考えています。

最低限の公金を投入しないと出来ないことはあるでしょう。

だが公金の金額が上がるほど向上するとは思っていません。

適宜適切、公平効率、効果性をもって、適切な金額が効果的に使用されているか、市が責任をもって判断をしなくてはいけないと思っています。

今後の地域コミュニティ推進協議会と市政についてどう考えておられますか。

これからの地域拠点の目的は、第一に防災防犯などの安全のための集まりを強化していくこと。

第二に共助のしくみですがいわゆる助け合いのしくみをつくること。

その上に今までやっていただいていた販わい創出や地域の要望が上積みとして乗っかってくるイメージになります。

だから今後の拠点の目的は安心安全助け合いのしくみをベースに考えています。

一方、今後の市政についてですが、今、国が先端技術を用いて新しい街づくりを作る、そういう街を全国の自治体から募っています。

いわゆる「スーパーシティ」のアイデア募集ですが、池田市もそこに手を挙げています。

「スマートコミュニティ」というものを提案しているのですが、これは将来オンライン会議をやったり、地域住民がそこに集まらなくても会議に参加出来たり意見が述べられたり、地域通貨などの地域ポイントを使いながら地域住民が多様に活動するその活動が助け合いのしくみとして共助共有出来るようなく

みを作りながら、新しい「スマートコミュニティ」というものを作ろうとしています。

将来的には多様な方々と意見交換をしながらアナログとデジタルが融合した世界、地域を支えて下さるような皆様とともに地域のまちづくりを進めてゆきたいと思っています。

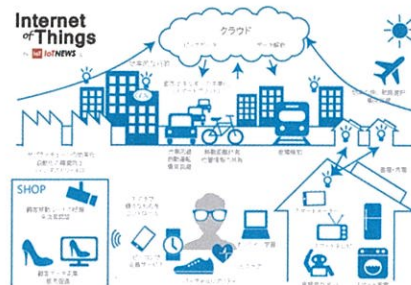
仕事が忙しいとか、高齢の方、障がいをお持ちの方など参画したくても出来ない、そういった方々もオンライン会議で物が言えたり中身の会議に参画出来たり情報が共有出来たりといったようなくみを今から作っていききたい。

誰もが見たこともないようなライフスタイル、便利で快適で持続可能な技術革新で新しいライフスタイルを提案していけるようなまちを作っていきたいということで、今新しいビジョンで動き始めています。

今後具体化した段階で市民のみなさんにご披露しようと思っています。

広報部会

小森 正 遠山経教
新井芳江



スマートシティとは・・・

SF映画でみるような空想世界？でしか描けなかった都市をIoTの先端技術を用いて基礎インフラと生活インフラ・サービスを効率的に管理・運営し環境に配慮しながら人々の生活の質を高め継続的な経済発展を目的とした新しい都市のことです。



インタビューを終えて・・・

富田市長は13年間続いた池田市の地域分権制度を高く評価され、公平性の担保から予算提案権は廃止するものの、必要なものは補助金として残し、地域コミュニティ組織に行政が今まで以上に深く関与責任を持つことによって更なる発展を期待していることがわかりました。

市長が掲げる池田市の**「スマートシティ」**施策の実現は、地域コミュニティが今までに培った市民力を如何なく発揮することが成功の要諦だと思います。今後とも池田地域コミュニティ推進協議会の活動に引き続き皆様のご理解御協力をよろしくお願いたします。

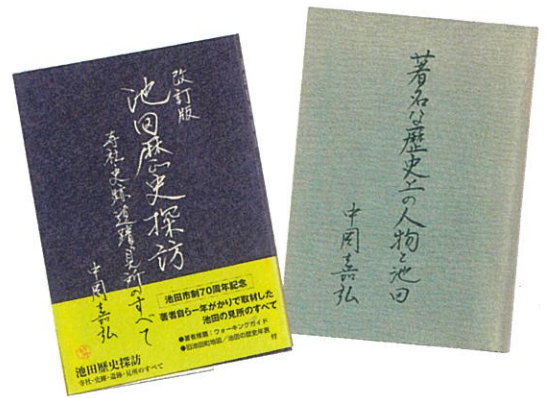
ご協力頂きましたお二方をご紹介します。

池田は歴史の玉手箱

池田市の面積は約22平方キロで全国791市の中でのランキングは728番目と言う小さい市域です。しかし、太古から人間が住み着いて残された痕跡が地下水のように沁み込んでいて、どこでも指させば歴史が泉のように湧き出て来ます。特に在郷町と呼ばれた旧池田は現在の池田小学校区とほぼ同じエリアとなります。

「井戸の辻」と呼ばれていた高札場は能勢街道・西国街道・妙見道・有馬道を結節する要衝でした。

池田城は立石町（建石町）を組込んで、その後も豊島郡役場など重要な政治の中心となっていた所です。また猪名川・五月山の伏流水は酒の醸造に欠かせぬ良質の酒水となって酒蔵が集中し江戸への下り酒として池田酒は全国的に有名となりました。秀吉以来天領となり、家康の朱印状を得て保護されて商人が自由に活躍出来た恵まれた環境は人・物の集散地としてレベルの高い文化を生み出し北摂の中心となって発展しました。過去の栄光に甘えることなく令和時代の新生池田の創生を期待しましょう。



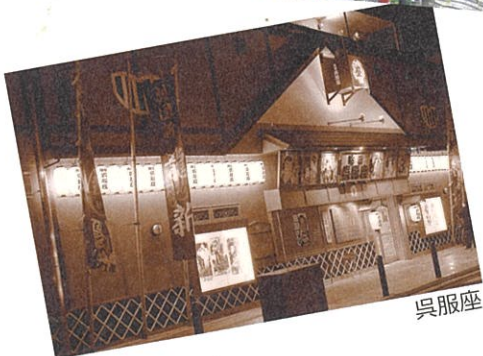
中岡嘉弘さん プロフィール 郷土史研究家。1930年京都市生まれ90歳。1958年より池田市在住し60年。著書には「がんがら火」「池田歴史探訪」など。



九頭龍神社



呉服神社



呉服座

野口英一さんプロフィール

1959年生まれ 池田市在住
フリーの写真家として舞台、人物写真他にも街の景観風景など多種面において活動中。
トップページの写真は其の内の一部を掲載しております。

あなたの声を

届けて下さい

池小校区
コミュニティまで

「こんなこと、こんなもの
こうすれば」もっと賑やかで
楽しく 安心して過ごせる
街になるのでは・・・
そんな声をお届け下さい

皆さんの情報をお寄せ下さい

ご連絡は事務所へ（池田会館内）

新町1-8 水・木・金曜日

TEL/FAX 734-8056